

第65回Suzuka Voice FM番組審議会 議事録

審議会開催日時 令和3年1月15日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて審議

番組審査委員：(敬称略) 樋口幸人 中道公子 服部高明 田城朋子 長橋祐子
館隆克 市野聖治

委員総数：7名

■「コーナー番組 ニード・フォー・クールチョイス」について審議

番組紹介)

当ラジオでは2017年より環境省が推進する「COOL CHOICE (=賢い選択)」の啓発放送を行い、今年度も諸団体の代表者による出演や市民・企業参加型コーナー、児童・生徒・学生向けコーナー、モータースポーツ啓発番組・CMと様々な世代・属性に合わせた地球温暖化防止対策の情報を発信している。

その中で、当コーナー番組は当ラジオで生放送番組パーソナリティも務めるレースアナウンサー 多賀稔晃を起用。鈴鹿ならではの、モータースポーツ目線からのクールチョイス・エコドライブを訴求している。

番組審議会では参考音源として、10月24日、25日に開催されたSUPERGTの来場者に向けた放送内容の音源を送付し、コーナー番組について、以下のご意見をいただきました。

意見・提案等)

- ・パーソナリティがレースアナウンサーということで、活舌が良く聞き取りやすく、わかりやすい点に好感が持てた。啓発番組としての信頼性を高めることにもつながる。

- ・番組の始まりに「クールチョイス」の意義を詳しく伝えており、非常にわかりやすく良かった。

- ・エコドライブは環境にやさしいだけでなく、安全運転にもつながる良い取り組みであることが十分に伝わった。

- ・レース来場者に向けてのクールチョイスの啓発という視点はおもしろい。

- ・普段のエコドライブについてもよい啓発になると思う。

・クールチョイスというスローガンが提唱されて久しいが、未だにその内容や目的・具体的手段が市民の間に十分浸透しているとはいいがたい。こうした中「モータースポーツファン」というようにターゲットを絞って地球温暖化防止に向けた啓発をおこなう番組は、リスナーの関心が高い分野を通じてその意識付けをできるので高い効果が期待できると思う。今後も、様々な世代や属性に合わせた番組制作を期待している。

以上